

日米投信概況

# 日米印でインド株から純流出！米国で機関投資家がETFへ!! ～レバレッジ株(ブル型)ETF・ハイテク株ETF・ビットコインETF～

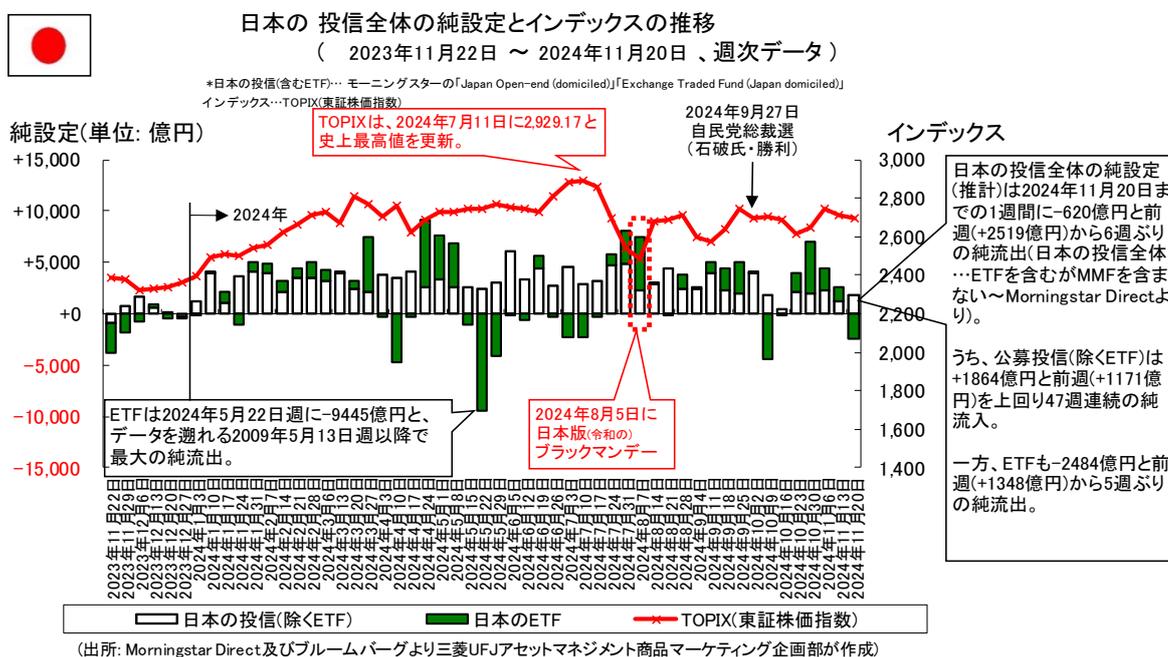
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)  
窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本でインド株Fから3年7か月ぶりの大きな純流出！インドでも株式市場から純流出!!.....p.1
- 米国で機関投資家がETFへ!!～レバレッジ株(ブル型)ETF・ハイテク株ETF・ビットコインETF～  
日本株・インド株・中国株からは純流出.....p.3

## ●日本でインド株Fから3年7か月ぶりの大きな純流出！インドでも株式市場から純流出!!

### 日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年11月20日(水)までの1週間に-620億円と6週ぶりの純流出

(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 公募投信(除くETF)は+1864億円と前週(+1171億円)を上回り47週連続純流入(新NISAが始まった2024年1月来純流入)、**ETFは-2484億円と前週(+1348億円)から5週ぶりの純流出**となった。



公募投信(除くETF)の最新11月20日週の純設定額+1864億円について分類別に見る。純流入1～5位は米国株、グローバル株、グローバル株-日本を除く、日本株大型グロース、米国債。一方、純流出最大はグローバル・特定テーマ/セクター株で、個別に見ると、DXやESGなどのテーマに関連してグローバルの株式に投資するファンドが大きい。**2番目に純流出の大きいインド株は11月20日週に-72億円と、2024年8月7日週以来15週ぶりの純流出で、2021年4月14日週(-99億円)以来3年7か月ぶりの大きな純流出**となった(インド株ファンドについては2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税

の引き上げ！インド株に投資するファンドの総経費率に注意!! 米国で小型グロース株が純流入」～[https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report\\_240729.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_240729.pdf)。

2024年9月17日付投信調査レポートNo.423「インド株ファンドが日本でも米国でも世界的に流入減速！～世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移～」～[https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report\\_240917.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_240917.pdf)」o



日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-11-20現在

**\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 US Equity	+128,494	+148,776	+453,391	22,482,388	米国株
	2 World Equity	+77,495	+85,666	+286,959	18,333,324	グローバル株
	3 World ex-Japan Equity	+41,548	+7,910	+82,262	12,270,631	グローバル株-日本を除く
	4 Japan Large-Cap Growth Equity	+33,970	-41,016	+19,861	6,156,844	日本株大型グロース
	5 US Bond	+11,644	-2,611	+11,531	623,533	米国債
	6 Moderately Aggressive Allocation	+7,714	+3,105	+26,109	4,598,921	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	7 Trading - Leveraged/Inverse	+7,294	-15,182	-7,109	673,006	トレーディング-レバレッジド/インバース
	8 Japan Bond - Long/Intermediate	+4,754	+5,461	+14,729	4,063,876	日本債-中長期
	9 Japan Specialty Equity	+4,533	-1,408	+3,337	816,947	日本・特定テーマ/セクター株
	10 US REIT	+3,577	-7,334	+4,316	2,556,958	米国REIT
↓ 下位 10 分類	77 Risk Control Allocation	-3,694	-2,704	-12,543	1,212,634	リスクコントロール・アセットアロケーション
	78 US Equity - JPY Hedged	-4,072	-2,088	-9,241	659,747	米国株-円ヘッジ
	79 US High Yield Bond	-4,177	+1,726	-1,453	1,494,371	米国・ハイイールド債
	80 Other Allocation	-4,181	+593	+815	698,710	その他アロケーション
	81 World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-4,367	-471	-14,306	1,295,018	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
	82 World Bond - JPY Hedged	-4,426	+2,393	-3,460	1,800,252	グローバル債-円ヘッジ
	83 Japan REIT	-5,473	-6,063	-19,511	2,074,721	日本REIT
	84 Other Equity	-5,569	-5,649	-20,078	1,378,378	その他株
	85 India Equity	-7,184	+1,797	-1,289	3,023,200	インド株
	86 World Specialty Equity	-60,712	-34,701	-87,543	13,160,794	グローバル・特定テーマ/セクター株
全86分類の合計		+186,453	+117,149	+723,470	136,878,197	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-0.37	-0.28	+2.33		
S&P500		-1.10	+0.98	+2.17		
MSCI ワールド		-0.85	+0.44	+1.08		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

インド国立証券保管機関/National Securities Depository Ltd/NSDLによると、「**外国ポートフォリオ投資家/Foreign Portfolio Investment/FPI(ファンドが多い~後述)**」の**インド株式市場への純流出入額は2024年10月に-9402億ルピー/約1兆7300億円の純流出で、NSDLが公開する2002年1月以降で最大の月間純流出額となり、2024年11月(22日まで)も-2653億ルピー/約4900億円の純流出額、2024年1月~11月(22日まで)で-1994億ルピー/約3700億円の純流出額である** (NSDL)

[FPI Investments] ~ <https://www.fpiind.co.in/web/Reports/ReportListing.aspx> → FPI Investment Details(Calendar Year) → 「INR Crores」(は1000万)。

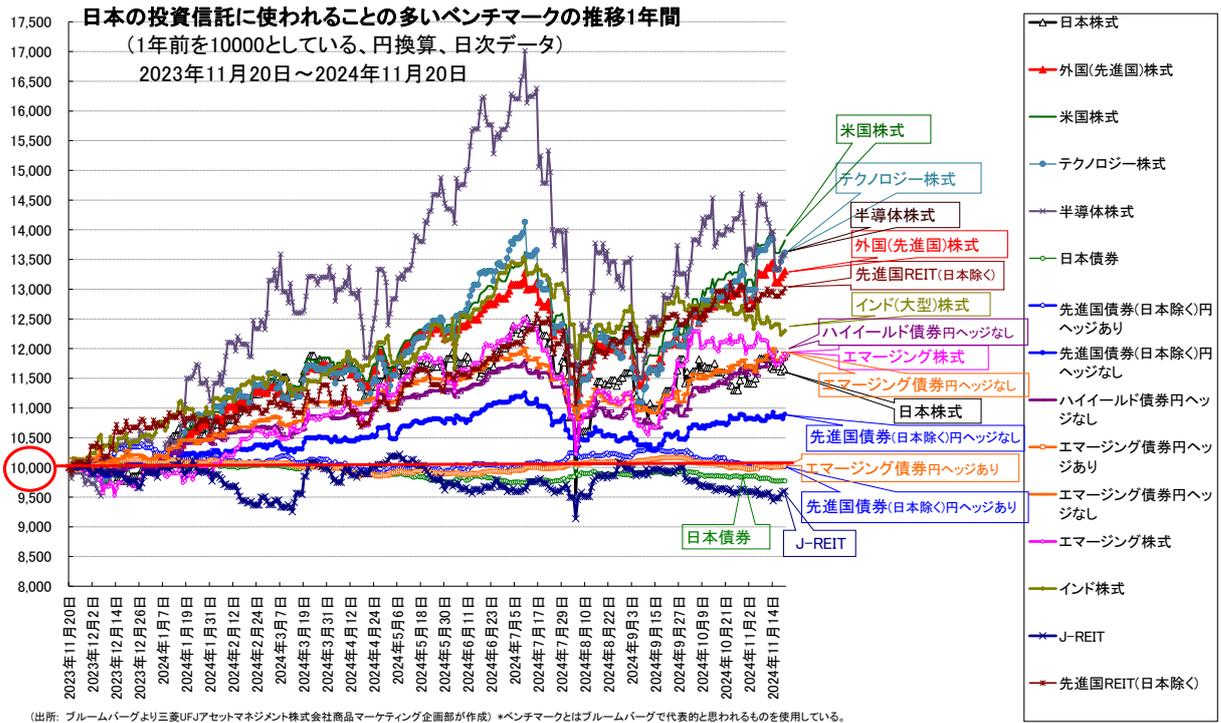
2024年9月24日に中国人民銀行が発表した金融刺激策を受けて中国株が回復、日本やインドから中国へのローテーション/rotation(転換)が起きている(2024年10月15日付投信調査レポートNo.425「米国で中国株ファンド(ETF)に過去最大の純流入！インドや日本から中国へシフト？~世界の中国株投資ファンドフロー」~ [https://www.ammf.jp/report/investigate/report\\_211015.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/report_211015.pdf))。ただ、後述する米国籍ファンドで中国株ファンドは最新2024年11月20日週に-24億ドル/約3685億円と、4週連続純流出で、2009年6月からの週次ベースで最大の純流出となっている。

インドでインド株式市場への純流入が多過ぎると判断したインド政府が2024年7月23日に上場株式のキャピタルゲイン税/Capital Gains Tax/CGTを「保有期間12か月未満/短期キャピタルゲイン税/Short Term Capital Gains/STCG: 15% → 20%、保有期間12か月以上/長期キャピタルゲイン税/Long Term Capital Gains/LTCG: 10% → 12.5%」としている事もあ

るだろう(2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税の引き上げ！インド株に投資するファンドの総経費率に注意!!米国で小型グロース株が純流入」~ [https://www.ammf.jp/report/investigate/report\\_210729.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/report_210729.pdf)、日本のファンドへの影響も...2024年5月13日付日本版NISAの道 その40「日米印株式ファンドの総経費率を日米比較！世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キャピタルゲイン税/CGTで総経費率が4~6%台?!」~

[https://www.ammf.jp/report/investigate/ohom\\_240513.pdf](https://www.ammf.jp/report/investigate/ohom_240513.pdf)、2024年11月2日付インドで最も発行部数が多いビジネス雑誌BusinessToday「Tax query: How capital gain tax rules have changed on NFO investments after Union Budget 2024」~

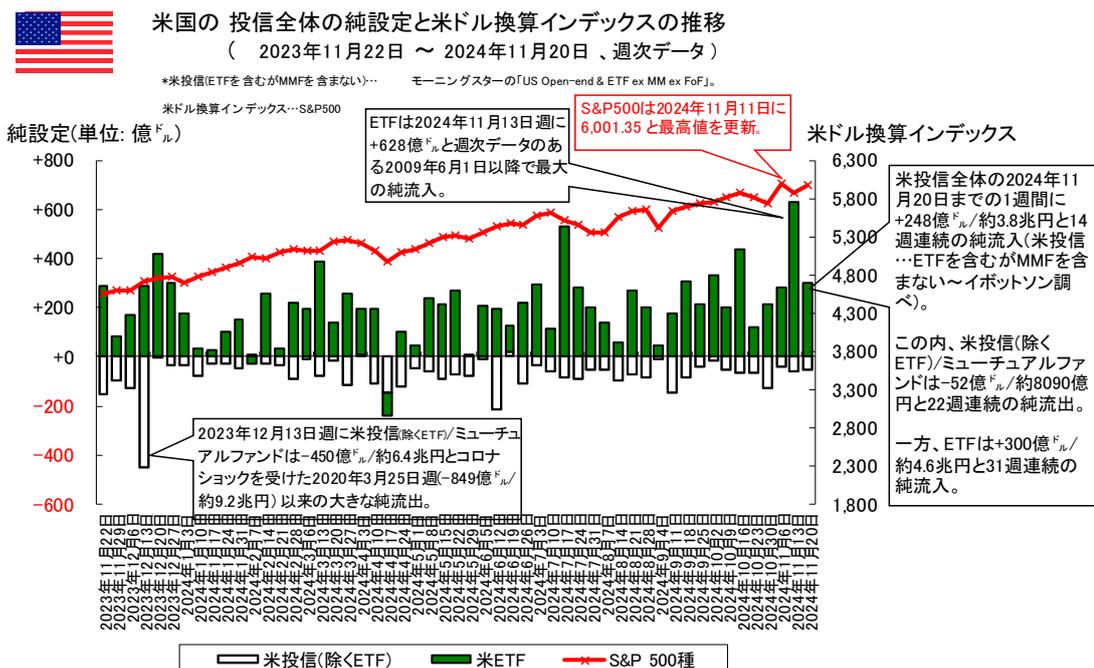
<https://www.businesstoday.in/personal-finance/tax/story/tax-query-how-capital-gain-tax-rules-have-changed-on-nfo-investments-after-union-budget-2024-52294-2024-11-02?text=IN%20units%20are%20the%20new%20of%20the%20income%20Tax%20Act>)。



## ●米国で機関投資家がETFへ!!～レバレッジ株(フル型)ETF・ハイテク株ETF・ビットコインETF～ 日本株・インド株・中国株からは純流出

**米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年11月20日までの1週間に+248億<sup>ドル</sup>/約3.8兆円と14週連続純流入**  
(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-52億<sup>ドル</sup>/約8090億円と22週連続の純流出。一方、**ETFは+300億<sup>ドル</sup>/約4.6兆円と31週連続の純流入**となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出と

ETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ [https://www.am.fj.com/report/investice/colom\\_211127.pdf](https://www.am.fj.com/report/investice/colom_211127.pdf) )。ETFは**2024年11月13日週に+628億<sup>ドル</sup>と週次データのある2009年6月1日以降で最大の純流入**(これまでの最大は2024年7月17日週の+534億<sup>ドル</sup>)。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

\*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点まで入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

NYダウは2024年11月22日に44,296.51米ドルと最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(38,703.27米ドル)から+14.5%上。S&P500も2024年11月11日に6,001.35と最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(5,186.33)から+15.7%上。

その中、2024年11月20日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。米国株は+106億ドルと4週連続の純流入(1年7か月ぶりの大きな純流入となった前週+402億ドルからは減少)、セクター株は+22億ドルと3週連続の純流入。一方、外国株は-28億ドルと2週ぶり純流出。債券は+100億ドルと25週連続の純流入。オルタナティブは+6億ドルと11週連続の純流入、コモディティは+9億ドルと3週ぶりの純流入。

投資対象をより細かく分類別に見る。純流入1~3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、米国中長期コア債。

先述通り、日本の公募投信(除くETF)は、純流入の大きい順に、米国株、グローバル株、日本株大型グロスだった。米国籍の投信も、純流入トップは米国株(ブレンド株~S&P500連動など)。

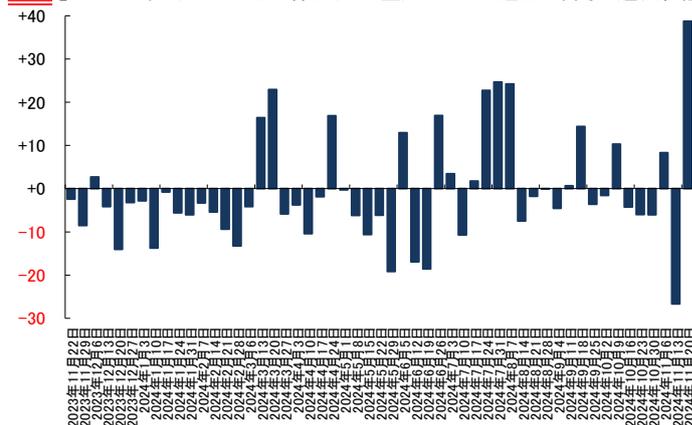
米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2024-11-20現在  
 \*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+9,469	+15,889	+40,080	4,737,598	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Trading--Leveraged Equity	+3,873	-2,670	+1,430	115,480	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
3	Intermediate Core Bond	+3,697	+640	+8,653	722,853	米国中長期コア債
4	Ultrashort Bond	+3,340	+230	+8,264	339,049	米国超短期債
5	Large Value	+1,920	+2,086	+1,902	1,487,801	米国大型バリュー株
6	Technology	+1,434	+830	+2,936	372,578	米国テクノロジー株
7	Foreign Large Blend	+1,345	+1,502	+4,668	986,404	外国大型ブレンド株
8	Bank Loan	+1,244	+1,525	+2,986	73,019	米国バンクローン
9	Derivative Income	+1,235	-118	+2,707	106,655	デリバティブ・インカム
10	Corporate Bond	+1,148	+165	+1,749	165,902	社債
17	Digital Assets	+700	+5,338	+8,663	122,173	デジタル資産(ビットコイン等)
50	Equity Precious Metals	+5	-323	-714	33,291	貴金属株
104	India Equity	-170	-14	-321	19,849	インド株
108	Japan Stock	-301	+95	-524	33,917	日本株
114	Europe Stock	-497	-93	-804	68,159	欧州株
115	Emerging Markets Bond	-557	+246	-351	57,931	グローバル・エマージング債米ドル建て
116	Utilities	-560	-751	-1,357	44,751	公益株
117	Health	-922	+301	-1,271	128,981	ヘルスケア株
118	Short-Term Bond	-1,012	+587	-101	345,219	米国短期債
119	Trading--Inverse Equity	-1,086	+357	-1,205	9,301	トレーディングインバース株式(ベア型)
120	Foreign Large Growth	-1,122	+391	-2,550	371,998	外国株大型グロス株
121	Small Blend	-1,626	+6,605	+5,482	491,519	米国小型ブレンド株
122	China Region	-2,381	-956	-3,888	33,106	中国株
123	Long Government	-2,453	-167	-1,222	138,320	米国長期国債(6年超)
	全123分類の合計	+24,803	+56,683	+114,417	20,875,024	
指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-0.37	-0.28	+2.33			
S&P500	-1.10	+0.98	+2.17			
MSCI ワールド	-0.85	+0.44	+1.08			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)  
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

2位のトレーディングレバレッジ株式(ブル型)は最新11月20日週に+39億ドル/約5995億円と、2009年6月からの週次ベースで最大の純流入(前週11月13日週に-27億ドルと2009年6月からの週次ベースで2番目に大きな純流出)。

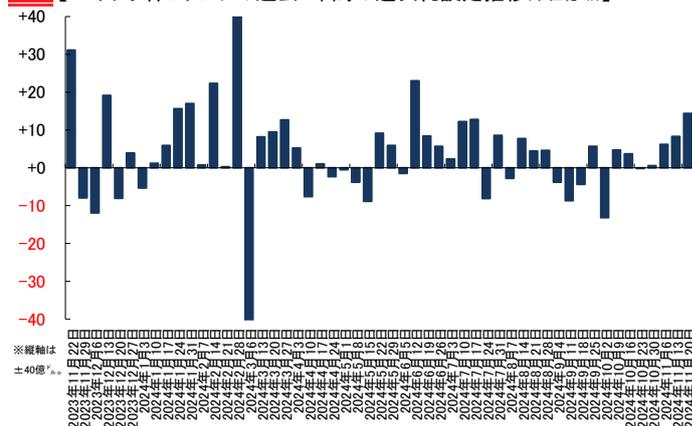
【トレーディングレバレッジ株式(ブル型)ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億<sup>ドル</sup>)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ハイテク株(米国テクノロジー株)が流入加速傾向。ハイテク株は最新11月20日週に+14億<sup>ドル</sup>/約2220億円と、3週連続で純設定が増加し、全123分類中6位(←11月13日週+8億<sup>ドル</sup>←11月6日週+6億<sup>ドル</sup>←10月30日週+0.5億<sup>ドル</sup>←10月23日週-0.2億<sup>ドル</sup>)。うち、ハイテク株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-0.9億<sup>ドル</sup>と19週連続の純流出。ハイテク株ETFは+15億<sup>ドル</sup>と7週連続純流入で、6月12日週以来約5か月ぶりの大きな純流入。

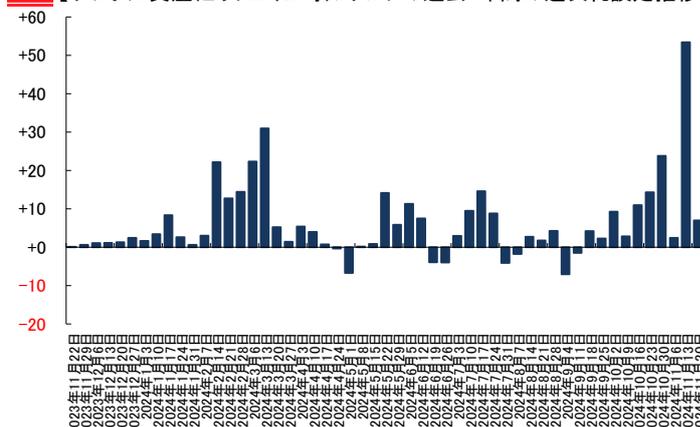
【ハイテク株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億<sup>ドル</sup>)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

17位のデジタル資産(ビットコイン等)は最新11月20日週に+7億<sup>ドル</sup>/約1083億円と10週連続の純流入。前週11月13日週に+53億<sup>ドル</sup>と週次データのある2009年6月1日以降で最も大きな純流入(これまでの最大は2024年3月13日週の+31億<sup>ドル</sup>)。デジタル資産(ビットコイン等)は、大半がETFであり、「iShares Bitcoin Trust ETF(IBIT)」などビットコインETFが大きい。

【デジタル資産(ビットコイン等)ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億<sup>ドル</sup>)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

2024年1月にSEC(米証券取引委員会)が暗号資産ビットコインの現物を裏付け資産とする上場投資信託(ETF)を承認、米国の証券取引所で、11銘柄の取引が開始された。米国のビットコイン現物ETF全体の純設定(推計)を日次でみると、暗号資産を推進するランプ氏が大統領選に勝利(2024年11月5日投票)した事を受けて、**11月8日は+13.8億ドル/約2100億円と、取引開始以降で最大の純流入となった。** その後も純流入が続き、11月12日は+11.5億ドル、最新11月22日に+10.2億ドル/約1581億円と、直近1か月で3番目に大きな純流入(詳細は2024年11月11日付投信調査コラムNo.413「ビットコインETFの道～トランプ

氏は米国を世界のビットコイン超大国にすると言い、日本の国民民主党・玉木氏は暗号資産ETF導入を公約し、日本の金融庁は暗号資産規制見直しに着手～」( <https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/> )

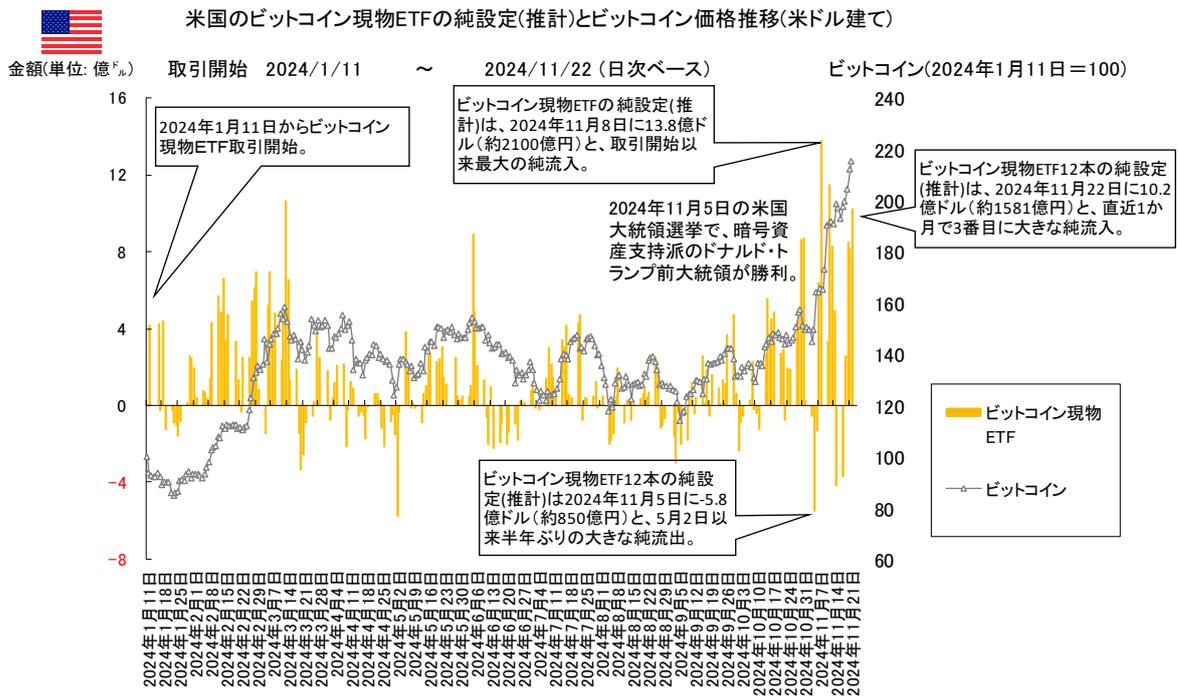
ビットコインは大幅上昇、10万ドルに向けて11月24日に9万7000米ドルを下回る水準で推移している。ビットコインETFの残高も急増している。ブルームバーグのETFアナリストによると、「**米国の現物ビットコインETFの運用資産は11月22日に1070億ドル(約16.6兆円)と、あと230億ドルで金ETFを超える。クリスマスまでに追い抜く可能性は高い。**」

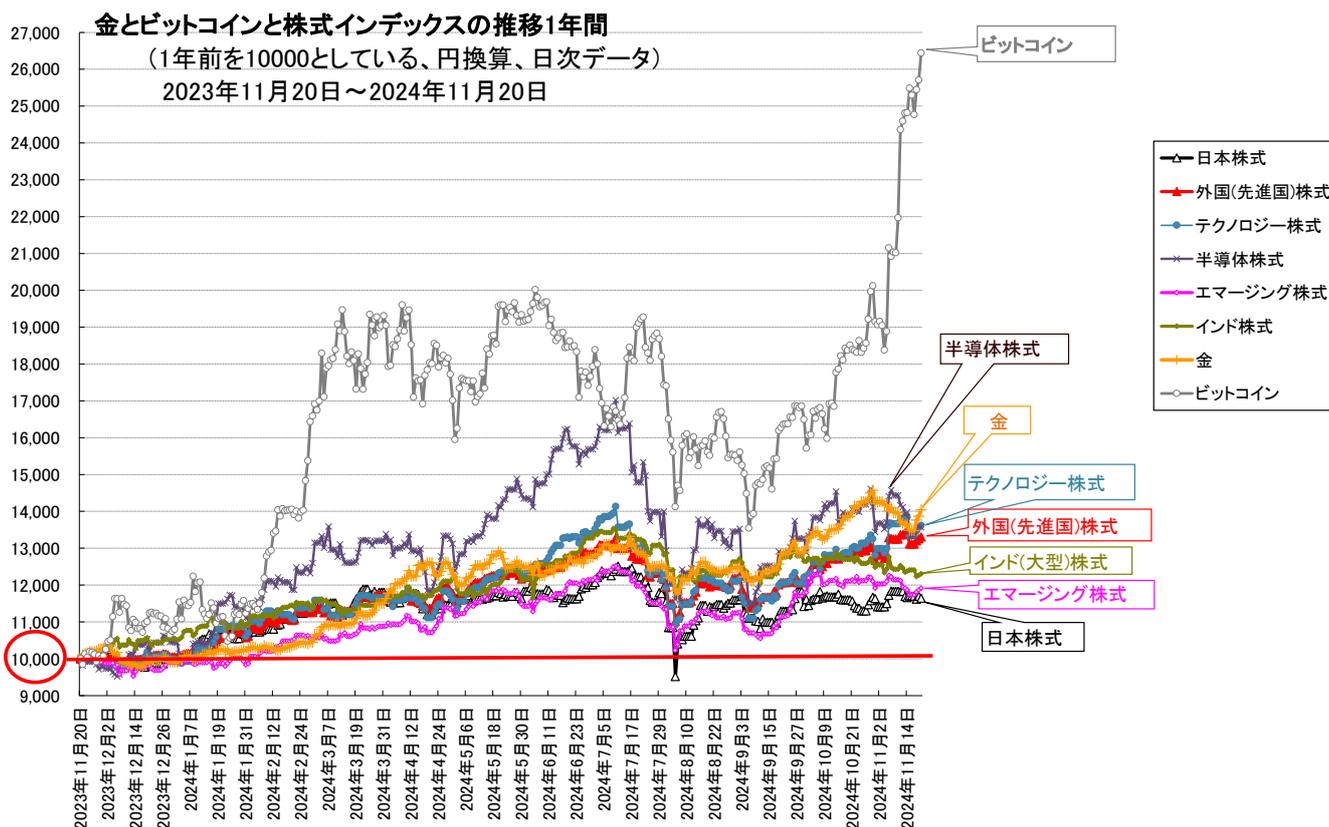
( <https://www.bloomberg.com/status/18605631387145690> )と言う。

今年1月に承認されて既に残高16兆円超の現物ビットコインETFを保有しているのは誰か？ 現物ビットコインETFの残高で45%を占めて最大のブラックロック「iShares Bitcoin Trust ETF」(ティッカー:IBIT)の保有者を見ると、ヘッジファンドのミレニアム・マネジメントやカプラ・マネジメント、モルガンスタンレーやゴールドマン・サックスなど機関投資家である(SECの13F…米国で事業を運営し、株式など総額1億ドル以上保有する機関投資家に対して、四半期ごと、保有銘柄の開示が義務づけられている。四半期末から45日以内にフォーム13Fと呼ばれる報告書を提出～2024年10月28日付投

信調査コラムNo.412「世界のETF～暗号資産(仮想通貨)ETF、ヘッジファンド保有ETF、アクティブETF、テーマ&パフアーETF～ 欧州のETF～債券ETF、アセットオーナー保有ETF～ 日本のETF～日銀保有ETF～」

( [https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/ohomn\\_241028.pdf](https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/ohomn_241028.pdf) )



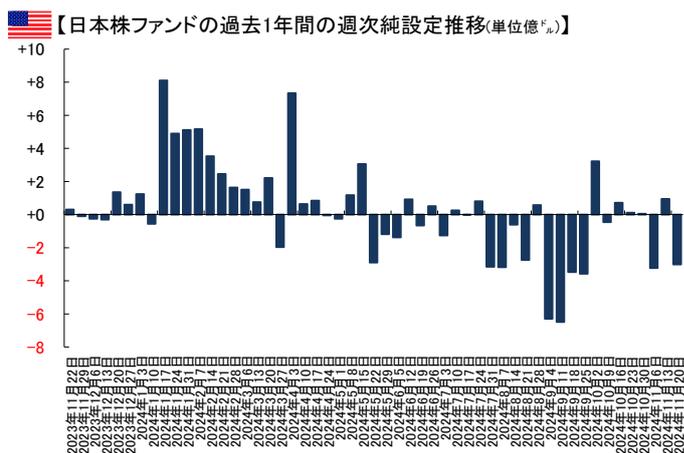


(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

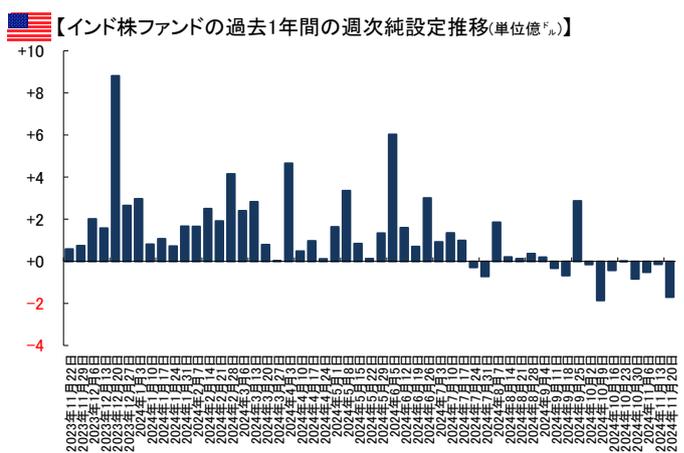
トレーディングレバレッジ株式(ブル型)やハイテク株、ビットコインなどへの流入だが、「**ドナルド・トランプ氏の米大統領選勝利をきっかけに始まった何でも買いあさる熱狂は、株式や社債といった分野では沈静化しつつある。しかし、ウォール街の投機的な向きの間では、リスクイク熱は日増しに強くなるばかりだ。…(略)…。震源地はビッグテック銘柄などに連動し、資産が1400億<sup>ドル</sup>(約21兆6700億円)規模に達したレバレッジ型ETFや、マイケル・セイラー氏のビットコイン代替指標マイクロストラテジーなどだ。米大手ハイテク7社『マグニフィセント・セブン』を含む指数や銘柄で損益を増大させる手段に投機資金が押し寄せている。単一銘柄のレバレッジ商品は今週、860億<sup>ドル</sup>相当の取引と記録的な規模になった。**」(2024年11月23日付ブルームバーグ「日増しに高まるリスクイク熱-暗号資産やレバレッジ型ETFに資金」~ <https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-11-23/SNDHWY7AFB506>)とも言われている。

2024年11月21日に**米国SEC/Securities and Exchange Commission/証券取引委員会のゲーリー・S.ゲンスラー/Gary S. Gensler委員長(民主党)が2025年1月20日(月)正午/12:00 pm(昼12時、英米式時刻では12:00 a.m)は夜に退任すると発表した事も好材料である**(2024年11月25日付投信調査コラムNo.414「SEC委員長退任で投信改革・私募ファンド・暗号規制は?トリプルDを歓迎するバンクローンやプライベートアセット、歓迎しないESG、警戒するインデックスファンドとETF!」~ <http://www.amufc.jp/report/investic/>)

最後に日本で流入が続く日本株と15週ぶりに純流出となったインド株、同じアジアの中国株について見る。**日本株は最新11月20日週に-3億<sup>ドル</sup>/約466億円と、2週ぶり純流出となり全123分類中108位(←前週は+9000万<sup>ドル</sup>と43位)。**うち、日本株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+526万<sup>ドル</sup>と2週ぶりの純流入の一方、日本株ETFは-3億<sup>ドル</sup>と2週ぶり純流出。



インド株は8月中旬以降、流出傾向(前述日本籍欄参照)。**インド株は最新11月20日週に-1.7億ドル/約263億円と、4週連続純流出**となり全123分類中104位(←前週は-0.1億ドルと89位)。うち、インド株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-1.6億ドルと4週連続の純流出。インド株ETFも-900万ドルと3週連続純流出。なお、**中国株は最新11月20日週に-24億ドル/約3685億円と、4週連続純流出で、2009年6月からの週次ベースで最大の純流出**。



以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### 本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会